

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		からふる太田		公表日 2026年2月25日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0	7	利用者の成長に伴い手狭に感じる場面はあるものの、レイアウトを変更することで、空間にゆとりを感じられるようになっている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0		現在の配置数は概ね適切だと考えられるが、より充実した支援を行うため、可能な範囲で増員していただくと望ましい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	クールダウン室や送迎車を活用し、落ち着いて過ごせる環境づくりを行っています。個別対応として使用できる部屋は十分な数ではありませんが、別室は一応確保されています。	現在は大きな支障はないが、今後は更衣室が不足する可能性があるため、更衣に利用できる空間を整備出来れば安心。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	保護者の方からいただいたご意見やご指摘には、できるだけ早く対応するよう心がけている。	対応は行えていると感じる一方で、内容が職員全体に十分行き渡っていない印象がある。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		パート職員についても、定期的な面談の機会を設けることが望ましいと感じる場面がある。正社員は会議等で意見を発言する機会が多く確保されている一方、パート職員は発言や意見共有の機会が少ない状況にある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		状況に応じて内容が変更となることがあるため、作成時には都度確認を行う必要がある。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		内容は計画書に反映しているものの、本人より保護者から意見を聞く場面が多くなっているため、今後は本人の気持ちや希望をより優先していく必要があると考えている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	支援会議などの場で、支援に関わるスタッフと意見交換を行いながら、支援内容について検討を進めている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		本人支援・家族支援は行えていると考えるが、移行支援や地域連携については今後の課題であり、取り組みを強化していく必要がある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	4	同じ内容に偏らないよう、できるだけ工夫しながら取り組んでいる。	近頃、スタッフの都合により予定が変更となる場面が見受けられるため、事前に決定した活動については、可能な限り当初の予定どおり実施できるよう努めてまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1		

適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	翌日に簡単な振り返りを行い、引き継ぎが必要な内容については、スタッフ間で情報共有を心がけている。正式な打ち合わせという形ではないものの、業務に必要な共有は行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1		記録は継続して行っているものの、感想中心になる傾向があるため、今後は支援に活かせる具体的な内容を記載するよう改善していきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	全利用者を対象に、半年に1回（年2回）の支援会議を行い、支援計画を作成している。あわせて、必要に応じて臨時の面談や相談の機会も設けている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6	1		地域との交流の機会をつくるのが難しい状況ですが、今後は少しずつ関わりを広げていけるよう検討していきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者が会議等に参加し、検討内容や支援の状況について、会議やミーティング時に共有・報告を行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	相談員が作成した計画書を参考にしながら支援への理解を深めようとしている。	密な情報共有が行えているのは特定の児童発達支援事業所に限られている状況である。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7		利用者の年齢が上がるにつれ、参加可能な機会や支援の選択肢が、徐々に少なくなっている状況が見受けられる。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	市内で実施される保護者向けの研修や講演会、説明会については、必要に応じて参加を案内・促すよう心がけている	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に、保護者や利用者に分かりやすく説明を行うよう心がけている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6	会社単位での交流や活動の機会は設けられていないが、スタッフが間に入って調整することで、関係性が築けているケースもある。	
保護者	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		

への説明等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	会報やお知らせを通じて活動内容の発信を行っている。今後は、より多くの方に情報を届けるため、ホームページの導入を予定している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各委員会においてマニュアルを作成し、定期的な見直しを行うよう心がけている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	緊急時に備え、利用者を含めた避難訓練を定期的に実施し、安全意識の向上を図っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	服薬に関しては、保護者から処方箋や薬の情報を提供していただき、服用量や副反応について把握できる体制を整えている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	契約時に保護者の方へアレルギーの有無を確認し、必要がある場合は、職員がすぐ確認できる場所に掲示する対応を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	各委員会を設置し、安全計画に沿って定期的な研修および訓練を実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	日常のミーティングや会議を通じてヒヤリハット事例を共有し、内容を記録として残すことで、事故防止に向けた取り組みを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	安全計画に基づいて、虐待防止および身体拘束に関する研修を定期的に行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	契約時に保護者の方へ内容を説明し、同意のうえで署名をいただいている。		